

創作広場では、6月に開所した
「リサイクルセンター」の職員
さんもPRに



8月に発足した「踊ろねっか北条」の皆さんが熱演



「佐橋神社神楽舞保存会」は後継者の育成のためにがんばっています。写真の笛・太鼓の子供たち5人は中学生です



食糧さんありがとう

今年は食券が11時30分で完売！
食べられなかった方ごめんなさい

「リサイクルバザールのお礼」
例年、皆さまの家庭からご寄付いただき開催しておりますリサイクルバザールの売上金は五万五十円でした。ありがとうございました。



私がほしい品物は？
閉会式どころではありません



ふるさと広場も大盛況
体験学習コーナーは子供たちが先生です

十月三十一日は今年度最後の愛友会が開催されました。南・北小三年生がボランティアとして協力してください、「レクリエーション係」、「会場係」、「食事係」の役割を立派に務め、会員と私たちスタッフに元気を与えてくれました。

九月三十日、さわやかな秋日和の中、愛友会の皆さまとスタッフが長岡市にある県立歴史博物館と国営越後丘陵公園を巡り、日帰り旅行を楽しんできました。博物館では越後各地の特色ある歴史を見聞したり、丘陵公園では昼食と満開のコスモスと秋バラの中を散策。大自然の中から活然の気を養うことができました。また、車中や休憩時には、会員同士が健康状況や親睦にと、お互いに日ごろの生活と違った楽しい語らいの時間を過ごすことができました。

「愛友会」の日帰り旅行

花の丘陵公園で

愛友会ボランティア

代表 吉田 ミヨ

刈上祭り賑わう

大角間町内会長

千野 明

茜色の夕焼けが、西の夜空に消えて、七色の願いを秘めた六十余発の花火が、見事なまでにその思いと、彩りを天につなげる。

その昨夕の残像が脳裏より去らぬまま、今朝は、山間の小さな寒村に、若者の歓声が山鳴りとなってこだまし、手作りの俵みこしが村中を乱舞する。

かくて盛りだくさんの行事も、老若男女の喜びと陶酔の中に今年も無事終わる。

「ちつちやい部落にでつかい夢を」を合言葉に、豊かで平和な村作りの手探りは、また来年へと続く。

